



## アフリカ各国首脳と会談

### ～第五回アフリカ開発会議 (TICAD V) にて～

五年に一度のアフリカ開発会議が6月1日から三日間、横浜市において開催。39名の国家元首・首脳級などが参加し、今後のアフリカ開発の方向性について活発な議論が行われました。河井克行衆議院外務委員長は、九年前に外務大臣政務官としてアフリカ・中東を担当した経験を基に、各国首脳らとの会談を分刻みで行いました。

アフリカは、かつての貧困と飢餓の大陸から、希望と活力の大陸へと大きく変貌しました。河井克行外務委員長はアフリカの平和と繁栄のために力を尽くします。

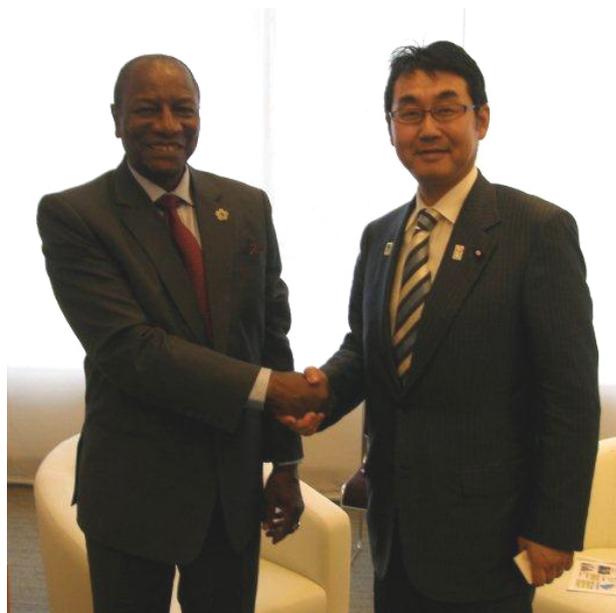


ルト・ケニア共和国副大統領

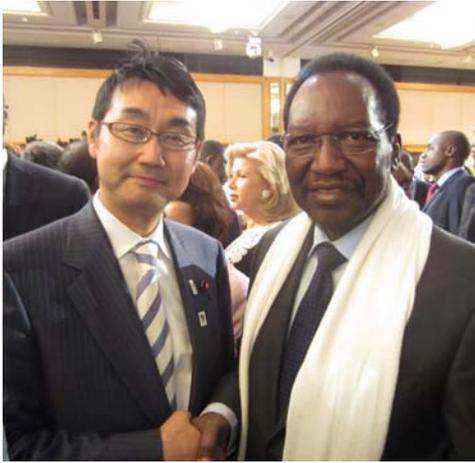
河井克行委員長は日本ケニア友好議員委員会を創設し、会長を務めています。



キクウェテ・タンザニア連合共和国大統領



コンデ・ギニア共和国大統領



トラオレ・マリ共和国暫定大統領



ベンサラ・アルジェリア  
国民評議会議長



ウワタラ・コートジボワール共和国大統領



コロマ・シエラレオネ共和国大統領夫妻



クラーク・国連開発計画 (UNDP) 総裁



マヤルディ・南スーダン共和国大統領

## 外国議会・政府要人、国際機関代表らと会談



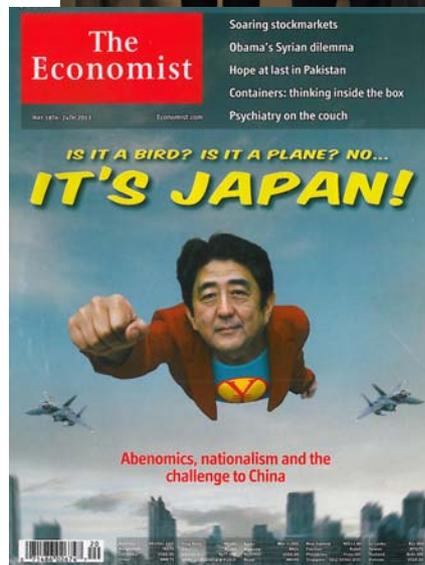
フライデンバーグ・オーストラリア連邦下院議員  
(6月13日)



スリペンチュク・ロシア国家院  
議員対日議員グループ代表ら  
(6月4日)



ズムワルト・米国国務次官補代理(6月13日)



5月18日付『エコノミスト』誌は  
安倍内閣の経済政策や外交・  
安全保障政策を特集。それに  
先立ち、3月20日にカー・外交  
編集長と、3月27日にジュー  
ラ・アジア総局長と意見交換

# EUおよびASEAN各国大使と日中関係につき意見交換

尖閣諸島をめぐる日本と中国の間の緊張関係が高まる中、沖縄県全体の日本の領有権に疑義を呈する主張が『人民日報』や『環球時報』などに掲載されるようになりました。河井克行外務委員長は、5月21日に、中国による海洋進出や経済進出が活発になっているASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10か国の駐日大使らを、また6月6日には、自由、民主主義、平等、法の支配、人権の尊重など日本と同じ価値観を有するEU(欧州連合)加盟27か国の駐日大使らを招き、率直な意見交換を行いました。



東南アジア諸国連合加盟各国の在京大使らと(5月21日)



欧州連合加盟各国の在京大使らと(6月6日)

特命全権大使が出席した国: マレーシア、フィリピン共和国、ラオス人民民主共和国、カンボジア王国。

欧州連合代表部、オーストリア共和国、ベルギー王国、チェコ共和国、クロアチア共和国、デンマーク王国、エストニア共和国、ドイツ連邦共和国、ギリシャ共和国、アイルランド、イタリア共和国、ラトヴィア共和国、リトアニア共和国、ルクセンブルグ大公国、ポーランド共和国、ポルトガル共和国、ルーマニア、スロヴァキア共和国、スロヴェニア共和国、スウェーデン王国、英国。

ASEAN「日中懸念」  
緊張が続く日中関係について、東南アジア諸国連合(ASEAN)各国の駐日大使らが21日、東アジア地域の不安定化につながるよう懸念を表明した。衆院の河井克行外務委員長が21日、国会内に各大使らを招いて日中関係に関して懇談した席上、各大使らが相次いで述べた。マニユエル・ロペス駐日フィリピン大使は「日中間の対立は、東南アジア地域の安定にも影響する。双方が平和的な手段で対応してほしい」と求めた。懇談には、タイを除くASEAN9か国の大使や公使らが出席した。

5月22日付『読売新聞』



## 外務委員会で審議・可決された法律案・条約一覧

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 日・コロンビア投資協定 | 日・インド社会保障協定     |
| 日・クウェート投資協定 | 日・パプアニューギニア投資協定 |
| 日中韓投資協定     | 北太平洋漁業資源保存条約    |
| 日・イラク投資協定   | 食料・農業植物遺伝資源条約   |

# 平成25年度政府予算成立 ～民主党政権と比べて大幅な増額～

新規

JR可部線電化延伸事業  
路盤工事、軌道の撤去・新設、可部駅の配線変更

3億9000万円

新規

矢口川総合内水緊急対策事業  
排水機場の設計、用地買収

2億1000万円

	平成25年度政府予算	平成24年度補正予算と 合わせた 対前年度比
国道54号可部バイパス	6億9000万円	69.2%増額
直轄砂防あさひが丘地区	4億5500万円	5.8倍に増額
直轄砂防八木地区	9700万円	7.0%増額
直轄砂防上安緑ヶ丘地区	1億7500万円	48.3%増額
直轄砂防相田武田山地区	2億円	2.6倍に増額
直轄砂防大町地区	2億2800万円	2.2倍に増額
直轄砂防高取北地区	1億800万円	18.7%増額
直轄砂防可部城北地区【新規】	2700万円	—————
東広島高田道路	4億円	2倍に増額
国道433号豊平加計バイパス	7300万円	27.0%増額



## 「再現・安の花田植え」で“苗持ち”

江戸時代から伝わる「安の花田植え」が6月9日、安東公民館隣の水田で行われ、河井克行代議士は苗束を早乙女に手渡す“苗持ち”の役で参加しました。戦後途絶えていたふるさとの芸能は安花田植保存会（森野文恵会長）の努力により七年前に復活。総勢80名の早乙女や田楽団に加え、芸北地域・大朝地域から飾り牛五頭も参加しました。

## ふるさとの社会基盤整備に 全力を注いでいます

【写真左】上島新道  
（安佐北区安佐町・5月12日）

【写真右】川根原山農道開通式  
（安芸高田市高宮町・6月15日）

